NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞記事を素材に、考える力を育成

2．学校名

兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校

3．実践者名（代表者名）

棚野　勝文

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

学校設定科目:考える方法　36人

6．単元（本時の学習課題）名

「HAPPY NEWS」へ投稿しよう

7．目標（狙い）

「HAPPY NEWS」への投稿を通じて、情報を収集選択し、論理的に自己の意見を他人へ伝える力を育成する。

8．評価の視点

(1)HAPPY NEWSに適切な記事を、積極的に見つけることができたか。
(2)自分の意見を文章で表現できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

第1学期　6～7月　授業時数10回　本時:HAPPY NEWSを見つけ、自分の意見を整理する。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)導入　10分　平成20年度の「HAPPY NEWS」受賞作を全員で読み、授業の主旨を理解する。
(2)展開　45分　各自が新聞6紙を読み、「HAPPY NEWS」を見つける。
留意点:新聞を読むことに慣れてなく、紙面構成を理解していない生徒も多いため、新聞の読み方、記事の探し方の基本的なことを丁寧に伝える。
(3)まとめ 5分　「HAPPY NEWS」が見つかった生徒は、自分の意見を次回に向けて整理する。
留意点:新聞記事の後追い感想にとどまらす、自分の具体的な経験なども考え感想を構成するように指示をする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

たくさんの新聞の中からHAPPY NEWSを探すのはとても難しかったです。私が、HAPPY NEWSとして使った記事は自分も共感できる内容だったので良かったです。新聞は悪いニュースばっかりだったけど、たまに載っているHAPPY NEWSはとても良いものだった。自分の家の新聞も時間がある時見てみようと思った。

12．成果と課題

インターネットやテレビから簡単に情報がとれる時代の高校生にとっては、身近な存在とは言い難かった新聞にNIEを通じて接し、生徒たちが新聞情報の重要性を知ったことは大いに意味のあることであった。また、新聞を読む活動を通じて、言葉に興味を持ち、語彙力が増え、読解力が向上したことを実感できた生徒が多数存在し、授業の目標に対し、一定の成果があったことがうかがえた。